

浪江町長 馬場 有

安達太良山頂に冠雪を見る季節となりました。町民の皆様には避難先での3回目の師走を迎え、ご心痛いかばかりかと思うと自然に涙腺がゆるみます。

さて、今年は町の復興拠点を本庁舎に移し一部の職員を配置し災害復旧の準備に入りました。公共事業第1号として請戸漁港復旧工事に着手し、今後順次上水道、道路補修等復旧工事を進めます。また、県内に災害公営住宅を建設すべく避難先自治体・県と一体となり用地の選定等に鋭意努めており最終局面に入っております。賠償についても賠償紛争審査会に動きがでてきましたが、予断できませんので町民の方々の「生活

支援」「生活再建」にむけて国・東京電力に対し要請・要求を強化してまいります。

更に、今年はいくらか前に進むニュースもありました。地元での事業再開（4事業）、伝統・芸能の復活、各スポーツ大会での活躍、B-1グランプリで浪江焼麺太国が1位のゴールドグランプリの栄冠を獲得し浪江町を全国に発信しました。

これらの明るいニュースは私達にとり希望と勇気を与えるもので一筋の光が見えます。来る年が浪江町民に笑顔が戻り、元気がでる年になるよう念願し、良きお正月を迎えられることをご祈念し挨拶とします。

今月の表紙

「ふくしま駅伝を
終えて」

監督 佐藤 博文

11月17日に開催された第25回ふくしま駅伝では、テレビの前や沿道で応援して頂き、町民の皆さまに感謝申し上げます。

結果は、総合29位、町の部11位で残念ながら10位入賞を逃しましたが、県内外から集結してくれた選手は本場に頑張ってくれました。また、サブマネージャーの皆さんお疲れ様でした。

避難生活が続く中、今後の大会への参加も課題が山積みですが、来年こそは入賞を目指し、ジュニア選手の育成や情報収集を心掛けていきたいと思っております。浪江町民皆さまの応援をよろしくお願いたします。

